



エシカル消費って何？

◆ 社会や環境に配慮／企業活動の後押しにも

Q－最近、エシカル消費という言葉聞くようになったけど、何をすればいいの。

A－エシカルとは倫理的、道徳的の意味であり、エシカル消費は、消費者が社会的課題の解決を考えたり、そうした課題に取り組む事業者を応援したりする消費活動を指します。具体的には、障がい者を支援する商品や地元食材を使った商品、被災地で作られた商品、無駄や環境負荷の少ない商品を購入するという行動が挙げられます。エシカル消費は「人や社会、地域、環境に優しいモノ」を購入することから「思いやり消費」とも言われています。

Q－どうしてエシカル消費が必要なの。

A－個人消費は国内総生産（GDP）の5割を超え、一人一人が行う日々の消費行動の積み重ねが社会や経済に大きな影響を与えています。そのため、消費者が人や社会、地域、環境に優しいモノを積極的に購入することは、事業者がエシカル消費の対象となる商品を作ろうとする企業活動の継続・発展につながります。また、無駄を省き、リサイクルなど環境に配慮した商品を作ることは、地球への負荷を減らす効果をもたらし、国連が採択した持続可能な開発目標（SDGs）の目標12「つくる責任、つかう責任」を達成するための取り組みにもつながります。使う側である消費者の責任を果たす重要な行動の一つとも言えるでしょう。



Q－県内での取り組みは。

A－富山県では2021年度からスーパーのアルビスと連携して「とやまエシカルフェア」を開催し、エシカル消費に役立つ商品の紹介や親子向けのミニ講座を実施しています。本年度はさらに協力企業を増やし、この取り組みを拡大します。市町村や消費者協会など各種団体でも、食品ロス削減のため、家庭で余った食品を活用する「フードドライブ」を推進し、エシカル消費の輪を広げています。

（北陸経済研究所の中陳岩夫が解説しました）